

# まほろば秦野通信

令和2年6月8日

タイトル	<b>新型コロナに負けるな！ 景気回復に黄金の泉 ～市内初？黄金色に光る「ヒカリモ」発見～</b>
When (いつ)	5月下旬
Where (どこで)	白笹稻荷神社の池 (今泉 1089)
Who (だれが)	環境共生課 調査員 (くずはの家の職員)
What (なにを)	<p>○ヒカリモ 水面に浮かぶ藻類の一種で、光を反射して黄金色に光って見える。反射して光る仕組みは完全に解明されておらず生態も不明な部分が多い。 光る様子は4月から6月にかけて観察される。県内での発見報告は、2017年横浜市瀬谷区のと泉川の源流及び瀬谷区市民の森の記録、鎌倉市常盤の記録に続く3例目と思われる。</p> 
How (どのように) Why (なぜ)	<p>環境共生課では「秦野市緑の基本計画」の改定に際し、新たに生物多様性地域戦略を計画内に含めるため、市内各所で生物調査を実施している。その際に調査員がヒカリモを発見した。 神社の関係者によると、以前(20年ほど前から記憶あり)から見られたということであり、ある程度の期間があることから自生地としての条件がそろっているものと考えられる。 神社の敷地内という場所柄もあり、御利益が感じられる人気スポットになる魅力を秘めている。</p>
今後の取り組み	ヒカリモの自生地として、神社に管理していただきます。
問い合わせ	環境共生課 環境総務担当 担当：大嶋 電話 0463(82)9618